

Shakespeare Newsletter

日本シェイクスピア協会会報

2014 No.2

(通巻 Vol. 54 No.2)

Shakespeare Newsletter

日本シェイクスピア協会会報

2014 No.2
(通巻 Vol. 54 No.2)

目次

第53回シェイクスピア学会を終えて(会長挨拶)	1
2015年度シェイクスピア祭と総会のお知らせ	2
委員候補者推薦会議解散のお知らせ	3
第54回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項	4
第10回シェイクスピア・ワークショップメンバー募集要項	5
国際交流フェローシップ募集のお知らせ	5
55周年記念論文集募集のお知らせ	6
<i>Shakespeare Studies: the 400th anniversary special issue</i> のお知らせ	7
日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について	8
2015年度会費納入のお願い	8
NOTICE BOARD	9
ホームページ掲載内容のお知らせ	9
日本シェイクスピア協会賛助会員名簿	10

第 53 回シェイクスピア学会を終えて

中野春夫

第 53 回シェイクスピア学会は学習院大学を会場として 10 月 11 日・12 日に開催されました。昨年の鹿児島大会は一日目の午前中に台風が通過する学会でしたが、本年度も開催日前後に台風が上陸し、二つの台風をすり抜けての開催となりました。晴れわたる好天のなか 2 日間におわりに多くの会員がご参加くださり、盛会の中滞りなく第 53 回大会を終了できましたことをご報告申し上げます。

初日土曜日の研究発表では厳正な審査を通過した優れた研究成果が 14 人の会員によって発表されました。二日目の午前には早稲田大学教授小田島恒志先生の特別講演「シェイクスピアの末裔たち～現代英米演劇の上演翻訳を巡って」が多数の聴衆を魅了し、午後に関かれた 2 室のセミナーはグローバルなシェイクスピア上演と資料のデジタル化に関する最新の情報と研究成果を披露していただきました。セミナーと同時開催の第 9 回シェイクスピア・ワークショップにおきましても、次世代を担う若手の研究者が活発な議論を展開してくれました。日本シェイクスピア協会の高い研究水準を実証してくださった講演者およびコーディネーター、発表者の皆様には厚くお礼申し上げます。また大会準備と運営に献身的に当たっていただいた学会担当の諸先生方、日本シェイクスピア協会事務局および学習院大学英語英米文化学科研究室の方々にも心よりお礼申し上げます。

本協会の会員数は 1990 年代には常時 800 名を超えていましたが、英文学をめぐる諸事情の変化によって緩やかに減少し、今現在の時点でちょうど 600 名になりました。今後も減少傾向が続くことが予想されますが、日本シェイクスピア協会は会員数および会費収入の減少にもかかわらず活動の規模や質を落とすことなく、発表媒体のさらなる拡大と会員相互の親睦の促進を実現してきました。これが可能であったのも協会の歴史 54 年間にわたり、会員一人一人がシェイクスピア研究に対して熱い思いを抱き、多大なご支援を与えて下さったからに他なりません。

一会員として誇りに思うのは『英語青年』が休刊となって以来、英文学関連の論文発表の場が縮小する一方、ことシェイクスピア研究に関しては歴代の委員会による御尽力によって研究発表の場は従来と変わらず、むしろ記念論文集や *Studies*、*Journal* (*Shakespeare News*) と複数の媒体を設けることで従来以上に確保されてきたことです。また全国大会につきましても 9 年前から若手研究の奨励を目的としてシェイクスピア・ワークショップが開催されるようになり、セミナーでも海外の様々な地域からシェイクスピア研究者をお招きして先端の研究成果の交換を行うなど多様な企画が実現するようになりました。

すでにお伝えしましたとおり、2016 年度に没後 400 周年と協会創立 55 周年記念を兼ねて日本語版の記念論文集と英語版の *Studies* 拡大号が刊行されます。2016 年度の *Journal* と *Studies* は記念企画と別個に通常の論文掲載も行いますので、来年度は会員の皆様にご利用にこれまでになく大きな論文発表の場を提供できることとなります。研究発表こそは私たち日本シェイクスピア協会の活力源でありますから、協会を牽引なさっている世代とともに、協会の未来を担う若い世代の方々にも積極的にご投稿くださいますようお願い申し上げます。記念論文集、*Studies* 拡大号の投稿書式・締切日など応募にかかわる情報につきましてはこの会報の 6～7 頁もしくはホームページをご参照ください。

最後に、私を含め委員 8 名の任期がこの 3 月末日で終了し、4 月から井出新会長の下、現委員で留任する 7 名と新委員 8 名で構成される新たな委員会がスタートします。没後 400 周年など様々な記念事業の業務を新委員会にお任せすることになり心苦しい限りですが、どうぞよろしく願いいたします。会員の皆様におかれましても、この数年は日本シェイクスピア協会をより発展、充実させていく絶好の機会となりますので、なにとぞさらなるご支援をよろしく願い申し上げます。最後のご挨拶として本協会の活動と予算状況にご理解いただき、ご寄付くださいました会員の方々の温かい志に心よりお礼申し上げます。そして現委員会を代表し、会員の皆様にさまざまなお支援を賜ったことを深く感謝申し上げます。

2015年度シェイクスピア祭と総会のお知らせ

2015年度の総会は下記の通り行います。皆様のご出席をお待ちしております。

日時：2015年4月25日(土) 12:00～12:30

場所：明治大学 駿河台校舎（リパティタワー）[東京都千代田区神田駿河台 1-1]

最寄駅からのアクセス

- JR 中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅 下車徒歩3分
- 東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- 都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩5分

また本年度のシェイクスピア祭を、日本英文学会共催、明治大学文学部協賛、明治大学学部間共通総合講座「シェイクスピアの現代的魅力」提携により、下記の通り催します。一般公開（事前予約不要）で無料です。お知り合いをお誘いのうえ、多数ご参加ください。

日時：2015年4月25日(土) 13:00～16:30

場所：明治大学 駿河台校舎（リパティタワー）

13:00～	ご挨拶
13:10～	対談「シェイクスピアの料理法」 講師：青木 豪（劇作家・演出家） 聞き手：井上 優（明治大学）
15:00～	講演「シェイクスピア時代の『検閲』とはなにか」 講師：太田一昭（九州大学）

*** 講演者プロフィール*****

青木 豪（あおき ごう）氏



1967年横須賀生まれ。明治大学文学部文学科演劇学専攻卒業。97年に『アフタースクール』で劇団グリーンを旗揚げし、全18公演の作・演出を務め、市井の人々の巧みな会話劇で評判を呼んだ。劇団は2009年に活動休止、14年に解散。また、プロデュース公演や他劇団にバラエティに富んだ作品を提供している。

シェイクスピア関連の作品では、D-BOYS STAGEの『十二夜』（13年10月・演出）、同『ヴェニスの商人』（11年4月・演出）、『ロミオ&ジュリエット』（12年5月・上演台本）、『リチャード三世』を下敷きにした、いのうえ歌舞伎『鈍切り丸』（13年10月・脚本）を手がけている。その他の主な舞台作品として、【作・演出】『東風』（05／鶴屋南北戯曲賞ノミネート）、『猿のゆりかご』（06／第51回岸田戯曲賞最終候補作品）、『ゆすり』（08）、【脚本】『エスベラント～教師たちの修学旅行の夜～』（06／鶴屋南北戯曲賞ノミネート）、『流星ワゴン』（06）、『渴いた人々は、

とりあえず死を叫び』（09）、『ガラスの仮面』（10）、『八犬伝』『断色』『鈍切り丸』（13）、『9 days Queen? 九日間の女王?』（14）、【演出】『往転ーオウテン』（12／第66回文化庁芸術祭新人賞受賞）などがある。また、09年に脚本を手がけたHTBスペシャルドラマ『ミエルヒ』で第47回ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞、NHK FMシアター『リバイバル』でABU賞も受賞している。12年9月から13年7月まで、文化庁新進芸術家派遣制度によりロンドンに留学。



井上 優 (いのう え まさる) 氏

明治大学文学部准教授。演劇学、西洋演劇史（特にシェイクスピアを中心とする近代の演劇の表現モードの変遷）を研究。明治大学のシェイクスピア上演（明治大学シェイクスピア・プロジェクト）をコーディネイターとして統括・指導。国際演劇評論家協会日本センター会員。日本演劇学会理事。

主要著作として『演劇の課題』（共著、三恵社、2010年）『ハムレット』の不可能性ーメイエルホリドとタルコフスキーの実現しなかった『ハムレット』をめぐるー（明治大学『文芸研究』111号、2010年）などがある。またラッセル・ジャクソン編『シェイクスピア映画論』（共訳、開文社出版、2004年）、毛利三彌編『演劇論の変貌』（共訳、論創社、2007年）などの翻訳でも活躍している。

太田 一昭 (おおた かずあき) 氏

九州大学大学院言語文化研究院教授。シェイクスピア劇、16～17世紀英国演劇の検閲・統制、地方巡業、戯曲印刷・出版史を研究。

主著に『英国ルネサンス演劇統制史——検閲と庇護——』（単著、九州大学出版会、2012年）、『新編シェイクスピア案内』（分担執筆、研究社、2007年）、『言葉の絆』（共編著、開拓社、2006年）、『初期英国演劇統制資料』（編集、九州大学言語文化研究院、2003年）、『エリザベス朝演劇と検閲』（編著、英宝社、1996年）など。



委員候補者推薦会議解散のお知らせ

委員候補者推薦会議
 岡本 靖正（議長）
 佐藤 達郎
 西出 良郎
 冬木 ひろみ

2014年度の委員選挙につきまして11月8日(土)に事務局において開票を行い、8名の新委員が決定いたしました。詳細は本誌 Notice Board をご覧ください。また、11月18日までに当選者全員から書面にて受諾を受け、委員選挙はすべて終了いたしました。従いまして、11月18日をもって委員候補者推薦会議を解散いたしました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

第54回シェイクスピア学会 研究発表ならびにセミナーメンバー募集要項

第54回シェイクスピア学会は、2015年10月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、北海道教育大学函館校(函館市)において開催されます。つきましては、下記により研究発表ならびにセミナーメンバーを募集いたします。応募規定をご覧のうえ、奮ってご応募ください。

記

◇研究発表【応募要項】(締め切り日にご注意ください)

1. 一般研究とし、テーマを問いません。ただし、未発表のものに限ります。
2. 応募者は研究発表概略(和文 4,000 字以内、または英文 1,500 語以内)を5部ご提出ください。
3. 書式はA4横書とし、ワープロ使用の場合は行間を十分に取ってください。
4. 学会プログラム資料原稿用に、研究発表要旨(和文 400 字、または英文 150 語以内)を1部ご提出ください。
5. 簡単な経歴書を1部添えてください。
6. 応募原稿は返却いたしませんのでコピーをお残しください。
7. 締め切りは**2015年6月19日[金](事務局必着)**です。
8. 審査結果は7月中旬に応募者あてに通知いたします。
9. 郵送先は、日本シェイクスピア協会事務局にお願いいたします。
10. 日本シェイクスピア協会会員であること(=当該年度の会費納入者)が応募の資格です。

◇セミナー：大会2日目に以下の2つのセミナーを企画しました。

【応募要項】(締め切り日にご注意ください)

1. 下記セミナーのうち一つのみ応募できます(応募は会員に限ります)。
2. ご希望のセミナーテーマを明記のうえ、ご発言の主旨を、日本語 200 字以内(または英語 100 語～150 語)にまとめ(書式自由)、氏名、所属・肩書き、連絡先住所・電話番号・電子メールアドレスとともに、協会事務局あて郵送してください。
3. 応募締切は**2015年5月1日[金](事務局必着)**です。
4. 各セミナーとも、コーディネイターと協議のうえ、メンバーの数を限ることがあります(コーディネイターは会員外のゲストを1名入れることができます)。
5. 応募の採否については6月下旬までに本人宛に通知します。
6. セミナーメンバーに決定した方は、研究発表に重ねて応募することはできませんので、ご注意ください。

なお、各セミナーの①コーディネイター、②テーマ、③指針は次の通りです。

《セミナー1》

① Daniel Gallimore (関西学院大学 教授)

② シェイクスピアと海—比喻、背景、歴史

③ シェイクスピアの劇作品には、テーマやイメージ、舞台背景(たとえば『テンペスト』)等々、「海」への言及が頻出する。そこには海洋国家イギリスと初期帝国主義の出会いを見ることもできるが、シェイクスピア自身は恐らく生涯を通じて長い船旅を経験したことはなかった。海や船舶術についての詳しい知識は、作劇の材源となった様々な資料から習得したものと思われる。Caroline Spurgeon (1935) がそのイメージ研究で示したように、シェイクスピアの世界観は基本的に陸に住む者の発想に依拠している。W. H. Auden は海に個人の意識の鏡を見てロマン主義論を論じたが、近年のエコクリティシズムによれば、シェイクスピアの海は「我々の文化的想像力の特質を探るための、また、見落とされてきたその特質に光を当てるための最も意味深い」事象であるという(Steve Mentz, 2009)。

本セミナーは文学・文化・異文化・歴史上の様々なアプローチに開かれている。討論は可能な限り日本語で行う予定である。

《セミナー2》

①南 隆太 (白百合女子大学 教授)

② **Shakespeares Tattered and Re-imagined in Manga/Comics, Animation and TV Drama**

③ The last few decades have witnessed the rise of so-called ‘cultural omnivores’ who readily consume both highbrow and popular cultures with little aversion to either of them at all. Such omnivorousness in cultural consumption, cultural tastes and cultural practices has greatly influenced the recent rapid increase and recognition of Shakespearean bits and pieces with global/cosmopolitan outlook. This seminar aims to explore non-stage Shakespeares tattered and/or re-imagined in manga/comics, animation films, TV dramas etc. globally circulated through various media platforms. Seminar members will be invited to discuss topics such as misuses of Shakespeare in world cinema and on the internet, recreations of Shakespeare's plays in videogames, and Shakespearean references in sci-fi TV shows, pop songs, genre fictions, or advertisements as well as relationships between cultural omnivorousness and pop Shakespeares in global/local contexts. This seminar will also investigate the relationships between such ‘pop’ Shakespeares and fandom as a collaborative and/or re-creative community for cultural consumption of Shakespeares in pop cultural spheres.

第10回シェイクスピア・ワークショップメンバー募集要項

大会2日目に、シェイクスピア・ワークショップを下記の要領で開催いたします。つきましては、下記により、ワークショップメンバーを募集いたします。応募規定をご覧のうえ、奮ってご応募ください。

コメンテーター：川田潤氏 (福島大学)、吉原ゆかり氏 (筑波大学)

シェイクスピア・ワークショップは、大学院生を主とする若手研究者に、大学院の枠を超えた知的・学問的交流の場を提供するべく設けられている企画です。

ワークショップは、メンバーがメールによる意見交換を踏まえたうえで、シェイクスピア、あるいは同時代の作家に関する研究発表を行うものです。また、世代の異なるコメンテーターにご参加を願い、複眼的な視野から考察を加えていただくことにより、聴衆にも興味深い企画にしたいと考えております。

【応募要項】 (締め切り日にご注意ください)

1. 応募者は大学院生、あるいはそれに準ずる者であることといたします。
2. 応募者はA4で1枚(和文2,000以内)の発表要旨を4部提出してください。
3. 所属、連絡先住所、電話・FAX番号、添付ファイルの送受信が可能な電子メールアドレスを明記した略歴を1部添えてください。
4. 原則として応募者は全員参加としますが、応募状況によっては選考を行う場合もあります。
5. 参加応募締め切りは、**2015年5月末日(消印有効)**です。
6. 郵送先は日本シェイクスピア協会事務局にお願いいたします。
7. 日本シェイクスピア協会会員であること(=当該年度会費納入者)が応募の資格です。

国際交流フェロシップ募集のお知らせ

審査時期は4月、10月の年2回ですが、規定どおり参加を予定している学会の開催日より2ヶ月前以前の応募であれば、審査の対象となり、さかのぼっての支給となる場合もあります。応募要件その他の詳細は本協会のホームページをご覧ください。

55周年記念論文集募集のお知らせ

日本シェイクスピア協会では、協会創立55周年ならびにシェイクスピア没後400周年を記念して、日本語による記念論文集の刊行を決定し、広く会員の皆様の論文を募集することとなりました。以下の応募要領にしたがって、ふるってご応募ください。

論文集の内容：シェイクスピア作品論（応募要項1にあげた作品に限る。正式のタイトルは刊行時に決定。）
 出版社：研究社
 応募締め切り：2015年9月15日
 刊行予定：2016年10月

応募要項

1. 下記にあげたシェイクスピアの作品を一つとりあげ、その作品を中心に論じること。研究方法に関しては制限を加えない。(7)と(8)は、合わせて一つの作品として論じて構わない。
 - 喜劇： (1) *A Midsummer Night's Dream* (2) *The Merchant of Venice*
 (3) *As You Like It* (4) *Twelfth Night* (5) *All's Well That Ends Well*
 - 歴史劇： (6) *Richard III* (7) *Henry IV, Part I* (8) *Henry IV, Part II* (9) *Henry V*
 - 悲劇： (10) *Romeo and Juliet* (11) *Julius Caesar* (12) *Hamlet* (13) *Othello*
 (14) *King Lear* (15) *Macbeth*
 - ロマンス劇： (16) *The Tempest*
 - 詩： (17) *Sonnets*
2. 応募論文は和文で書かれ、未発表のものであること。ただし、口頭のみですでに発表されているものは、その旨明記されていれば審査対象となる。
3. 無記名審査を行なうため、論文には応募者の名前を記さずに、論文標題と本文、および注という体裁とすること。
4. 論文は、注を含めて14,000字以内で、ワープロで作成し、A4版用紙（横置き）に縦書き40字×25行で印字すること。
5. 注は論文末尾にまとめてつけること。小見出しをつけること。小見出し、表記方法、注の形式、引用の仕方など論文の書式に関しては50周年記念論文集『シェイクスピアと演劇文化』（日本シェイクスピア協会編、2012年）を参照すること。
6. 上記要領で作成された論文のハードコピー5部に、応募者氏名、論文標題、所属、現住所、電子メールアドレス、必要な場合には口頭発表に関する注記を記した別紙のカバーレターを添えて事務局に郵送すること。
7. 原稿は返却しない。
8. 論文の採否は委員会が決定し、採否は追って通知する。
9. 採用された論文については、委員会が印刷用にWORD(.doc, .docx)、またはリッチテキスト形式(.rtf)の電子ファイルの提出を求めることになる。

以上

*Shakespeare Studies: the 400th anniversary special issue*のお知らせ

2016年は1616年に亡くなった劇作家の没後400年を記念する年となります。2016年春に発行予定の*Shakespeare Studies*は、これを記念する特別号を予定しており、劇作家であり詩人であったシェイクスピアの作品に関する論文を募集いたします。特別号への投稿締め切りは、2015年9月30日です。

April 23, 2016 will mark the 400th anniversary of the playwright's death in 1616. We are seeking essays on all aspects of Shakespeare's work for a special issue of *Shakespeare Studies* which will appear in spring 2016. To be considered for publication in this issue, all essays must be received by 30 September 2015.

〈*Shakespeare Studies: the 400th anniversary special issue* 投稿規程〉

1. 投稿論文(研究論文)は未発表のもので、他の雑誌に掲載される予定がないものであること。ただし、すでに口頭で発表し、その旨を注に明記している場合には、審査の対象となる。
2. 研究論文は、英文で6,000 words程度の長さであること(注は、これに含まない)。注は、脚注とする。投稿者の名前、謝辞等は論文そのものには記さず、カバーレターに記すこと。採用された場合は、謝辞は注の冒頭に置かれる。カバーレターには、原稿のタイトル、氏名[ふり仮名つき]、現在の所属、連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを明記すること。
3. 投稿論文は電子メールで提出すること。WORD ファイル形式(.doc, .docx)、あるいはリッチテキスト形式(.rtf)で作成・保存し、添付ファイルで日本シェイクスピア協会の提出用アドレス ssj-submission@nifty.com まで送信すること。受領確認後、事務局から受領確認メールを送る。提出後7日以内にそれが届かない場合、投稿論文が事務局に届いていない可能性があるので必ず再送信すること(ただし、8月、年末年始の事務局休暇期間は休暇明けに受領通知を送る)。
4. 書式上の注意については協会HPの'Style Sheet for *Shakespeare Studies*'を参照すること。
5. 応募論文の採否は、編集委員会が決定する。採用論文の掲載に先立ち、編集委員会は書き直しを求めることがある。
6. 校正は、原則として初校に限り、執筆者が行なうこととする。この際、加筆・訂正は表記および事実の誤りに関するもののみとし、それ以外は認めない。
7. 英語を母語としない投稿者は事前に必ず、英語を母語とする人によるチェックを受けること。
8. 論文中に掲載される図表や写真その他の掲載資料は、採用が決定した際には投稿者自身が著作権者の許可を受けた上で慎重に引用すること。
9. 掲載された研究論文の著作権は、日本シェイクスピア協会に属するものとする。

以上

日本シェイクスピア協会事業運営へのご寄附について

日本シェイクスピア協会委員会では、学会開催、*Shakespeare Studies* や *Shakespeare Journal* の刊行などといった協会の事業運営へのご寄附をお願いしております。

平成 26 年 7 月 31 日から平成 27 年 2 月 20 日までに皆様からお寄せいただいたご寄附の総額は、270,000 円となりました。ご寄附いただいた方々のお名前をここにご報告させていただき、皆様のご理解とご協力に対して心より御礼申しあげます。

寄附者名簿(50 音順)：楠明子様、中野春夫様、前原澄子様、由井哲哉様 (以上 4 名)

なお *Newsletter No.1* でもお知らせいたしましたとおり、平成 26 年度のご寄附は全て、協会 55 周年 (シェイクスピア生誕 450 周年) 記念行事のために『基金』へ組み入れさせていただきます。詳細は *Shakespeare Newsletter 2015* (通巻 Vol.55) No.1 (8 月発行予定) の会計報告をご覧ください。

2015 年度会費納入のお願い

2015 年度(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)会費は、一般会員 8,000 円、学生会員 5,000 円です。協会の全ての刊行物は、当該年度の会費納入者のみに送付しております。円滑な協会運営のためにもなるべく早く、会費をお納めいただけますようご協力いただければ幸いです。なお、会費のお支払いは以下の 4 通りの中からご都合のよい方法をお選びください。

(シェイクスピア祭当日、ホール入り口で「会費納入受付」を設けますが、混雑が予想されますので、なるべく下記の方法で納入いただければ幸いです。)

- 1) 郵便局の総合口座からの自動引き落とし：宛名ラベル下段に[自動引落]と明記されている方は 6 月 5 日(金)までに入金のご準備をお願いいたします。新規でご希望の場合は、事務局までご連絡ください。
- 2) 郵便振替による納入：同封の「郵便振替用紙」をご利用ください(2015 年度会費の既納者と 2014 年度にて退会希望のご連絡をいただいている方には、「郵便振替用紙」を同封しておりません)。また、以下の項目に該当する方は、ご注意ください。
 - (a) 領収書をご希望の方：その旨、振替用紙表側の[通信欄]にお書きください。
 - (b) 学生会員の方：5 月末日までに当該年度の学生証のコピーを FAX、メール、郵送にて事務局までお送りください。特別な事情がある場合を除いて、5 月末日までに学生証のコピーが届かなかった場合は一般会員として登録し、差額をお支払いいただきます。

- 3) ゆうちょ銀行へのお振り込み(振込手数料は会員の皆様のご負担となります)

ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュー)店 (店番号 019)
 当座預金 0033142 ニホンシェイクスピアキョウカイ [すべて大文字]

- 4) みずほ銀行口座へのお振り込み(送金手数料は会員の皆様のご負担となります)

みずほ銀行 九段支店 普通預金 1671451 一般会計日本シェイクスピア協会

*** 銀行からは協会に送金通知が届かないため、銀行口座へ送金された方は必ず、メール(shakespeare-japan@nifty.com)または FAX(03-3260-8109)で、事務局までご連絡ください。

ご不明な点があります場合には、事務局までお問い合わせください。

NOTICE BOARD

◆ 2014年8月11日(月) *Shakespeare Newsletter* 2014(通巻 Vol. 54) No.1を刊行した。

◆ 2014年8月21日(木) 大会プログラムを発送した(*Newsletter* No.1同封)。

◆ 10月3日(金) 2015年度委員選挙投票用紙などを送付。10月4日から11月5日を投票期間とする郵送投票によって2015年度委員選挙を行った。

◆ 2014年10月11日(土) 第3回定例委員会を学習院大学文学部棟北2号館10F中会議室にて開催した。議題は次の通り。
1) *Shakespeare Studies*, *Shakespeare Journal*の編集状況について、2) シェイクスピア没後400周年記念出版事業企画について、その他。

◆ 2014年10月11日(土)、12日(日) 第53回シェイクスピア学会を学習院大学において開催した。詳細はホームページをご覧ください。

◆ 2014年11月8日(土) 午後12時30分より事務局にて、委員候補者推薦会議による開票作業を佐野隆弥総務の立ち会いのもとで行った。
有権者数518、投票者数205(投票率39.6%)。有効投票数199(内、白票1票)。
無効投票数6(投票締切日を過ぎて到着したもの4、○が9つ以上のもの1、投票ハガキの指定欄に住所・氏名の記載がないもの1)。
開票結果は以下の通り。当選者(敬称略、50音順): 井出新、桑山智成、小林潤司、篠崎実、清水徹郎、竹村はるみ、廣田篤彦、山田雄三。次点 石塚倫子、次々点 高森暁子。

委員候補者推薦会議は選挙結果の報告、新委員の就任意思の確認を終え、11月18日をもって解散した。投票結果の速報は11月21日にHPに掲載した。

◆ 2014年12月4日(木) 会長選挙開票。事務局にて会長選挙の開票が行われ、井出新氏(慶應義塾大学)が選任された。任期は2015年4月1日から2年。

◆ 2014年12月4日(木) 選挙結果報告。新会長決定後、全会員宛に新会長名と新委員会メンバー一覧をハガキで通知。

◆ 2014年12月14日(土) 第4回定例委員会を学習院大学文学部棟北2号館10F中会議室にて開催した。議題は次の通り。
1) 第53回シェイクスピア学会会計報告、
2) 2015年度シェイクスピア祭について、
3) 2015年度シェイクスピア学会(北海道教育大学函館校)について、
4) シェイクスピア没後400周年出版事業企画について、その他。

◆ 2015年2月21日(土) *Shakespeare Newsletter* 2014(通巻 Vol.54) No.2を刊行した。

◆ 2015年3月6日(金) *Shakespeare Studies* Vol.52を刊行予定。

◆ 2015年3月9日(月) *Studies* Vol.52と*Newsletter* No.2を発送予定。

◆ 2015年3月14日(土) 新旧委員による引き継ぎ会を学習院大学文学部北2号館10F中会議室にて開催予定。

◆ 2015年3月下旬 *Shakespeare Journal* Vol.1(通巻 Vol.54)を刊行予定。

ホームページ掲載内容に関するお知らせ

2013年度より、以下の内容は原則としてホームページにのみ掲載し、ご要望があった場合は随時、コピーをとってお送りいたしております。

規約全文、シェイクスピア祭報告詳細、学会セミナー報告、ワークショップ報告、国際交流フェローシップ応募要項、*Shakespeare Studies* 投稿規程、*Shakespeare Journal* 投稿規程。以上

日本シェイクスピア協会賛助会員名簿 (五十音順)

あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)
 板橋演劇センター
 インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドン (ITCL)
 エディション・シナプス
 オックスフォード大学出版局
 劇団 昴
 劇団 山の手事情社
 グローバル・リンケージ
 研究社
 Cambridge University Press Japan
 文学座
 ボルケ

SHAKESPEARE NEWSLETTER

日本シェイクスピア協会会報

2014 (通巻 Vol.54) No.2

2015年2月21日 発行

編集 日本シェイクスピア協会
 発行人 中野春夫
 発行所 東京都新宿区神楽坂 1-2
 研究社英語センタービル 3F
 日本シェイクスピア協会
 印刷 日本シェイクスピア協会

◎ 日本シェイクスピア協会 2015